

ワクワク！

治田小 学校だより

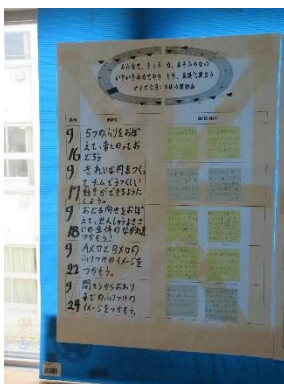
2025年10月1日
栗東市立治田小学校
NO. 8

前期末・後期始めの区切り

今年度もちょうど折り返しの時期になりました。前期を振り返ってこれまでのお子さまの成長はいかがでしょうか。4月から新たな学年でやる気いっぱいここまでがんばってきましたが、この機会に何によくがんばってきて、どんな力が身に付いたのか、一度立ち止まって考えていただきたいと思います。担任の先生から受け取った「子どものすがた」は、自分のことをよく知り、これまでの自分の良いところに自信を持ち、また課題となるところにどのように取り組むのかを考えて、意欲を持つための参考資料です。後期もまた新たに目標をもって、あんなことやこんなことにチャレンジしたいと、やる気満々になってくれると嬉しく思います。新たな半年を有意義に過ごすために、ご家庭でも十分お話しくださるようお願いいたします。

運動会練習に励んでいます！

暑さも少しずつやわらぎ、10月10日(金)の運動会に向けてそれぞれに練習に取り組んでいます。今年度からは、平日開催となりました。これは、これまでのようなビッグイベントではなく体育科学習の学習発表会の色合いを強め、学校行事をスリム化するねらいがあります。子どもたちに過度な負担をかけることなく落ち着いて学習に取り組みながら運動会を迎えることができるように、配慮しながら進めているところです。



練習のめあてと振り返り

子どもたちが運動に向かうときの意欲 応援方法を指導する6年生につながる動機は、一般に大きく3つあるといわれています。それは「競争」「達成」「克服」です。これらは運動だけでなく、どの教科における学習でも同様です。子どもは本能的に競争心を持っています。勝てるようにがんばることは、その子の力を引き出すことができますし、様々な力を伸ばすことになります。でも結果として勝てる人は少数派です。競争の価値は、実は負けることにあるのだと思います。負けた時にこそ子どもたちはたくさんのことを学び、次への意欲につなげることができるのです(回復力：レジリエンス)。

そんな競争ができると子どもの自立につながる運動会になると思います。また、「達成」は目標タイムに到達したり、こんなふうに踊

りたいとイメージしたことを成し遂げたりすることです。これには「達成感」が伴います。やはり目標に向かって努力した成果

としての達成感、その子を大きく成長させます。最後に「克服」ですが、これはできなかったことができるようになったり、困難を乗り越えたりすることです。子どもはいくつもの壁を乗り越えながら大きく育っていくのですね。

この3つ以外にも運動に向かう意欲につながるものとしては、全身で体を動かす心地よさや、仲間とともに体を動かす楽しさ、また様々な用具や場所によって運動したくなる環境といったものがあります。このように運動会は、子どもがそれぞれに力を発揮し、大きく育つことができるチャンスなのです。運動が苦手な子どももいますが、それぞれにめあてを持ち、運動会に向けて全身を使って運動に取り組み、心も体も成長できることを願っています。ぜひそんなたくましい姿を応援していただきたいと思います。



体育館で楽しくダンス